

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島県	市町村名	始良市	地区名	東餅田地区	面積	166 ha
-------	------	------	-----	-----	-------	----	--------

計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

<p>目標</p> <p>大目標: 始良市の中心拠点として、暮らし豊かな都市生活を創出する賑わいと潤いのあるまちづくり</p> <p>目標1: 中心市街地にふさわしい骨格となる交通基盤の整備 目標2: 豊かな都市生活を創出する良好な生活基盤と住環境の整備 目標3: 生活者の参加と交流によるコミュニティの形成と賑わいの創出</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始良市は、錦江湾に面した鹿児島県の中央部に位置し、九州自動車道、国道10号、日豊本線など鹿児島県の交通の動脈が走る広域交通の要衝の市である。 ・また、県都鹿児島市に隣接することから、鹿児島市のベッタウ的機能を有し、県内でも数少ない人口が増加している市である。 ・東餅田地区は、始良市の都市中心拠点に位置づけられ、市役所等の公共施設や中心的な商業施設等の都市機能が集積している地区である。 ・当地区には、国道10号と日豊本線の交通幹線が東西に並行して通り、中心に位置する日豊本線の帖佐駅は、民間路線バスやふるさとバスが連絡しており、公共交通の結節点となっている。 ・当地区の人口は増加しており、帖佐駅の乗降客数も減少傾向から平成13年以降増加に転じているが、玄関口としての駅前広場や駅へのアクセス道路が未整備(歩道がない)であるうえに、その他駅周辺の幹線道路(都市計画道路)も未整備の状況であり、朝夕は車の渋滞の発生と歩行者との交錯による危険な状態になっている。 ・当地区には市役所周辺に中心的な商業地が形成されているが、国道10号北側への大型店舗の進出により、既存店の販売額等は減少している。 ・当地区における基盤施設は、市役所周辺の宮島、西宮島地区で土地区画整理事業が行われ、日豊本線南側の松原地区で住宅を中心とした土地区画整理事業が施行中であり、両地区では基盤が整備されているが、その他の地区は狭小な道路が多く、排水施設等も不足している。 ・土地区画整理事業が施行中の松原地区では、新規の住宅建設が進み、市外からの流入者も増えており、新たな住民と古くからの住民とのコミュニティの形成が必要となっている。 ・東餅田地区のまちづくりの理念と目標は、始良市の都市中心拠点として、中心市街地及び交通結節点としての来やすく賑わいがあるまち、都市型住宅地としての暮らしやすいまちを目指している。(旧始良町都市計画マスタープラン)

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東餅田地区は、始良市の中心市街地であるとともに、玄関口である公共交通の結節点であり、幹線道路や駅前広場等の交通基盤の整備が必要である。 ・玄関口として帖佐駅前通りの商業空間づくりと市役所周辺の商業地と連携した中心商業地の活性化と賑わいづくりが必要である。 ・当地区では、一部の土地区画整理事業施行区域を除き、生活道路や排水施設、公園等が不足しており、良好な住宅市街地を形成するための生活基盤の整備が必要である。 ・新たな住宅建設と市街地の形成に伴い、市外から流入する新規住民と古くからの住民との良好なコミュニティを形成するための交流と憩いの場が必要である。 ・地区住民が暮らしやすく、来訪者が来やすく賑わいのあるまちとして、安全で快適な道路及び歩行空間の整備が必要である。
--

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>始良市の都市中心拠点として、にぎやかで、来やすく、暮らしやすいまちづくりを目指す。 (旧始良町都市計画マスタープラン 東餅田地域まちづくり構想 平成14年3月)</p>
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
東餅田地区の定住人口	人	東餅田地区に居住する(住民登録している)人の数	良好な生活基盤と住環境の整備によって、豊かな都市生活が創出され、地区の定住人口が増加することを目標及び指標とする。	6,105	H18年3月末	7,000	H24年3月末
日豊本線帖佐駅の乗降客数	人/日	帖佐駅を利用する1日当たりの乗客数と降客数の合計	定住人口の増加とともに、中心市街地の交通基盤の整備と賑わいづくりによって、鉄道による通勤者や来訪者が増加することを目標及び指標とする。	2,770	H17年度	3,100	H23年度
コミュニティ形成事業の参加者数	人/年	コミュニティ形成事業に参加した人の年間的人数	生活者の参加と交流のイベントが活発化し(参加者が増加)、良好な地域コミュニティが形成されることを目標及び指標とする。	1,800	H17年度	2,500	H23年度

